



秋市立小川小学校

# 小川っ子だより

第8号

平成30年9月21日

お・・思いやりのある子

か・・がんばり続ける子

わ・・わかる喜びを感じる子

## 平成30年度保小合同運動会 「輝～一人ひとりがヒーローだ！」

—会場設営等へのご協力やご声援、ご参加ありがとうございました—



9月16日(日)、運動会が開催されました。午前5時30分に、分園の保護者会長、校長・教頭・体育主任・育友会長の5名の保小関係者が集まって、『雲画像と運動場の状況』を確認したうえで、「運動会の実施」を、決定しました。「プログラムの変更の可能性有り」ということも、考慮して。



前々日準備の金曜日には、小雨の中、保小の教職員と保小の保護者の方で、テントのパイプの組み立て作業を行いました。当日の7時30分からは、テント張りや用具出しの準備等の会場設営を、**保育園と小学校の保護者の多くの方のお手伝いを得ての準備を行いました。8時過ぎには作業が完了しました。手際の良さに感動しました。**



運動会の当日を迎えるまでに、8月の暑い時期から運動会に向けての準備がまわっていました。保育園からは、太鼓の音に合わせて元気なかけ声が聞こえてきました。小学校も、夏休みから応援団の児童が集まって、応援や応援合戦の計画を立て、ダンスやパフォーマンスの練習をし



てきました。また、2学期になり、本格的な練習が始まりました。園児も開閉会式やダンス等の合同練習では、先生の話をしっかり聞き、動きをすぐに覚えました。児童は、高学年を中心にリーダーシッ



プを發揮して、次第に赤組も白組も団結していきました。また、子ども達は指導されたことを次への活動に自分で活かしていく場面も多く見る事ができました。まさに、「**輝～一人ひとりがヒーローだ!**」のスローガン通り、**日を追うごとに「運動会での自分の目標を、達成する!**」の意識が一人ひとりに高まっていくことを、子ども達の行動を通して、実感することができました。

**午前9時。1年生3人による「開会宣言」で、運動会の開始。**



子ども達は、「**輝～一人ひとりがヒーローだ!**」のスローガンを、全身を使って最後まで表現してくれました。『徒競走』では、ゴールまで全速力で走り抜きました。『パワー全開!2018』では、大声を発しながら、綱を引きました。『一輪ピック』では、ビギナーコース・チャレンジコース・スペシャリストコースのそれぞれの子ども達が自分の持てる技を發揮してくれました。『応援合戦』では、赤も白も、見事なパフォーマンスを演じきり、自分たちの士気を高めることはもちろんのこと、会場全体を盛り上げてくれました。『大玉ころりん』では、次の人たちへと大きな声を発しながら大玉を転がし、渡していきました。最後の『赤白対抗リレー』では、バトンリレーを練習した成果が見事に發揮され、4チームともスムーズにバトンを渡し、全ての子どもが力の限り走りきりました。



閉会式での得点発表は、大太鼓の音と共に、「一の位」と「百の位」が入れられ、「十の位」に子どもたちやご観覧の皆様からの歓声が上がりましたが、「白組207点」「赤組218点」と、11点差で赤組の久しぶりの優勝となりました。

**最後まで全力を尽くし演技・競技した子どもたちを誇りに思うとともに、感動に満ちた運動会でした。**

**ご来賓の皆様、地域の皆様、保護者の皆様には、最後まで温かいご声援をいただきありがとうございました。**

今年も、運動会の日に、“小川ささえ隊”の人が、「独居老人の方に、保小合同運動会を観覧してもらおう。」ということ、企画されました。午前中の演技・競技をご覧いただきました。地域の方が保小運動会を小川地域の元気の源と捉えていると思うとうれしくなります。ありがとうございました。

